

中小企業政策審議会

会長 小林 健様

令和6年6月12日

橋本 美奈子

第39回中小企業政策審議会 意見書

事務局より事前に提示されました「今後の中小企業経営と政策の方向性について」の発言ポイントを提出させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

①中小企業経営者は何を意識してどのような経営を行うべきか

- この先、人手不足が解消することはないと考え、IT化・DXの取り組みを加速していくこと
- 現在は国内市場のみで事業活動を行っている企業も、将来的に直接もしくは間接的に海外市場へ展開していくこと。
- 実力以上の賃上げによる人材確保を避けるため、大企業とは異なる「働きやすさ」「働きがい」による人材確保や、賃上げ原資として継続的な付加価値向上を目指していくこと

②現在の中小企業政策をどう評価し、今後いかにあるべきか

- 中小企業政策は、中小企業が抱えている課題に沿った内容になっており、企業が支援策を上手く活用していければ成長につながるものと認識しております。
- 経営改革につながるIT化、DXほど、投資額は大きく、助成金活用効果は大きくなると推測されます。引き続き支援をお願いするとともに、自社仕様でのシステム開発など対象範囲が広がると、より効果的な活用につながると思います。
- すでに海外展開支援は多数用意されているため、中小企業の海外展開が将来的にどのくらい重要なのか、国としても〇年までにこうしていきたい、という方向性が共有できると、経営者の意識改革にもつながるのではないのでしょうか。
- 大企業が「働きやすさ」と「働きがい」の両立を促進する中、中小企業だから実現できている事例をさらに発信して頂けるとありがたいです。また、中小企業こそ、決算書に現れない無形資産（自社の強み）を可視化するツールを活用し、人材確保や付加価値向上につなげていく支援をお願いいたします。
- また、付加価値向上には知的財産の活用も有用ですが、依然として知的財産の重要性を十分に認識していない中小企業が多いと思われます。自社の知的財産を守る、他社の知的財産を侵害しないための支援強化もお願いいたします。

以上